



ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からロータリー財団への補助金

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅活動のため、ロータリー財団に新たに5,000万ドルの補助金を授与しました。

ゲイツ財団は、2008年と2009年に、ポリオ撲滅を目的としてロータリー財団へ合計3億5,500万ドルの補助金を授与しました。この補助金に上乗せするため、ロータリーは2012年6月30日までに2億ドルを集めるチャレンジを開始しました。

ゲイツ財団より新たに授与された5,000万ドルの補助金は、ロータリーによる上乗せ寄付を条件とするものではありません。これは、期限に大きく先立ってロータリーが2億ドルのチャレンジを達成したことに対する称賛と、世界ポリオ撲滅推進計画への引き続きの支援の必要性を示すために授与された補助金です。

新たな補助金の条件は何ですか

ゲイツ財団からの5,000万ドルの補助金は、ロータリーからの上乗せ寄付を求めるものではありません。従って、ロータリーがこれに上乗せする資金を集める必要はありません。補助金は、主に世界保健機関（WHO）、ユニセフを通じてポリオ予防接種活動に直接充てられるなど、ロータリー財団によって、ポリオの脅威が最も顕著な国々に配分されます。

補助金はどのように利用されるのですか

ロータリーは、撲滅活動の第一線で活動するほかのパートナー団体とともに、撲滅達成に向けた最も有効な補助金の活用方法を判断します。以下の表は、過去数年間における補助金の用途を表したものです。新たなゲイツ財団補助金も、同じような方法で活用される予定です。



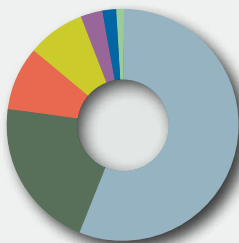
ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION®

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA

電話: 1-847-866-3000
polioplus@rotary.org

www.rotary.org
http://twitter.com/rotaryjapan
www.facebook.com/rotary
www.thisclose.net

ポリオ・プラス補助金の割り当て (2002-11年度)



- プログラムの運営: 2億8,116万米ドル (56%)
- 監視活動: 1億523万米ドル (21%)
- 社会動員: 4,481万米ドル (9%)
- 技術的な援助: 4,211万米ドル (8%)
- 研究: 1,637万米ドル (3%)*
- ワクチン: 1,015万米ドル (2%)
- 全国ポリオ・プラス委員会の運営: 256万米ドル (1%)

*ゲイツ財団チャレンジ補助金には、研究に必要な資金も含まれています。ロータリー（ポリオ・プラス）は従来、研究に対する資金提供は行ってきませんでした。

寄付で実現できること (米ドル)

- \$60 - 100: 子どもたちへのポリオ予防接種
- \$100 - 200: 予防接種の推進ポスター
- \$250 - 500: 保健員、ボランティア、ワクチン投与者を識別するためのエプロン
- \$500 - 4,000: 予防接種を受けた子どもを識別するために指に付けるインク
- \$1,000: 700のワクチン冷却運搬ケース

ロータリーが残す遺産

ポリオが撲滅されれば、治療やリハビリに必要な費用の負担もなくなり、世界は財政的にも、人道的にも、多大な恩恵を受けることとなります。また、各国がポリオ予防接種についてどのような決定を行うかによって、節約額は年間10億ドルを上回る可能性があり、節約された資金を公衆衛生のほかの優先課題に使用できることとなります。医療専門誌「Vaccine」の2010年11月号に掲載された論文によると、1988年から2035年までの活動で、GPEIによって400~500億ドルの経済的恩恵があると推測されています。

ポリオ撲滅活動に、さらに多くの資金が必要とされているのはなぜですか

2億ドルのチャレンジの達成は、ロータリーにとって素晴らしい成果ではありますが、最終的な目標は、ポリオ撲滅の証明であり、それには追加のリソースが必要となります。これから先のポリオ予防接種活動において、現在も資金不足の問題が残っています。この不足を解消するには、寄付国が大きな役割を果たすため、ロータリアンはこれらの国の政府に対し、アドボカシー活動（政府への働きかけ）を継続していきます。また、2012年6月30日まで、ロータリアンがチャレンジを引き続き支援していくことが大変重要です。



「世界ポリオデー」の10月24日、ロータリアンと共に米国議会前で「あと少し」のポーズを取るビル・ゲイツ氏。「あと少し」キャンペーンは、ロータリーの「End Polio Now (今こそポリオ撲滅のとき)」のメッセージを推進するものです。

ロバート S. スコット国際ロータリーポリオ・プラス委員長は、1988年の世界保健総会で全会一致で採択されたポリオ撲滅の決議について、次のように話します。「ポリオ撲滅は、すべての政府の責務です。世界中のロータリアンは、ポリオ撲滅について仲間のロータリアンと協力し、また、資金的・道義的な支援を得るため、各国政府のリーダーに働きかけなければなりません」

「End Polio Now (今こそポリオ撲滅のとき)」 ゾーン・コーディネーター

2012-13年度、ロータリーのポリオ・プラス・プログラムにおける経験が豊かな「End Polio Nowゾーン・コーディネーター」が任命され、国際ロータリーとロータリー財団の最優先事項であるポリオ・プラスに関するロータリアンへの周知活動を行います。これらのコーディネーターは、地区リーダー支援にあたります。